

## 令和5年度第2回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

日 時 令和6年2月26日(月) 午前10時00分～

場 所 市役所西庁舎 第5会議室

出席者 浦野委員長、前田副委員長、國分委員、多田委員、並木委員、後藤委員

三浦生涯学習課長、内田図書館長、鈴木公民館長、鈴木庶務課長、秋葉子育て支援課長、野村児童青少年課学童保育係長

富沢コーディネーター、野口コーディネーター、伊藤コーディネーター、淵上コーディネーター、成田コーディネーター、森田コーディネーター、小林コーディネーター、吉田コーディネーター、高橋コーディネーター

欠席者 加藤指導室長、深草児童青少年課長

傍聴者 0人

### 1 開 会

(1) 各小学校区の事業の運営状況及び実行員会報告について

【内部委員】 それでは、皆様、おはようございます。会議に先立ちまして、私のほうから一言御報告をさせていただきます。生涯学習課長の三浦と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本委員会の委員を務めていらっしゃいました、第三小学校副校長先生の城所淳一郎委員でございますけれども、昨年12月12日に御逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げますとともに、この場にて皆様に御報告を申し上げます。

なお、後任には、既に三小、副校長先生に着任いただきまして、コウザイ先生でございます。私もまだ面識がございませんので、今日の段階ではお名前のみ御披露させていただきます。

以上でございます。

【副委員長】 それでは、皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中、令和5年度第2回放課後子どもプラン運営委員会に御出席いただきまして、ありがとうございます。

なお、橋本委員、高橋委員、浅野委員、加藤委員、深草委員からは本日御欠席の連絡をいただいております。深草委員につきましては、代理として野村児童青少年課学童保育係長が出席されております。

【内部委員】 よろしくお願いたします。野村と申します。

【副委員長】 初めに、本日の第2回委員会より新たに御就任いただきました、放課後子どもプラン運営委員の紹介に移りたいと思います。なお、任期につきましては、令和6年2月26日から令和6年3月31日となっております。

お名前と推薦団体、抱負などをお願したいと思っております。それでは國分委員、お願

いできますでしょうか。

【外部委員】 國分ひろみと申します。よろしくお願ひします。社会教育委員会から出向というんですか、一応、推薦団体は早稲田大学小金井稲門会というOB会の団体から出ております。私自身は書の作品を書いて時々発表している状態です。

よろしくお願ひいたします。

【副委員長】 ありがとうございます。

では、次に配付資料の確認について、事務局から説明を求めます。

【事務局】 では、こちらのほうから資料の説明をさせていただきたいと思ひます。

まず、次第が1点お配りしているものと、あと、資料のほうは、まず、各小学校の2月の放課後子ども教室のカレンダーがホチキス留めになっているものが1つ目で、その次が、A3のこういったものを留めた資料になるんですけども、第一小学校における校舎の改築等に関する資料で、最後に前回の第1回の会議録の案となっております。

以上になります。

【副委員長】 配布漏れ等はございませんか。大丈夫でしょうか。

それでは、議事に入りたいと思ひます。

まず、議事1、各小学校区の事業の運営状況及び実行委員会報告について、各学校からの報告を求めます。まず、一小さんからお願いできますでしょうか。

【コーディネーター】 一小の富沢です。よろしくお願ひします。いいですか座ったままで。

【事務局】 どうぞ。

【コーディネーター】 一小では去年からジュニアスタッフ会議というのを開いていまして、小学校4、5、6年生を中心に、自分たちが放課後子ども教室でやりたいことを企画して、それを実行することに取り組んでいます。昨年度は2回イベントをしたんですけど、今年度も2回のイベントに加え、さらに子供たちが自分たちでやりたいと言ったことを企画して、実施してもらっています。

2月のカレンダーが配られているということなのですが、先日、シンガポールから小金井まで自転車で旅をした方がいらっしゃって、その方の話を聞くのと、ジュニアスタッフがシンガポールから日本への旅にちなんだゲームなどを企画して、大きなイベントをやらせていただきました。子供たちは非常にやり切った達成感を得て、誇らしげにしている、また、来年度に向けて頑張ろうという姿勢がとても印象的でした。

そのほか、校庭開放、体育館開放は例年どおり順調に進めております。

以上です。

【副委員長】 ありがとうございます。

それでは、次に二小さん、お願いできますでしょうか。

【コーディネーター】 二小の野口と申します。よろしくお願ひします。

二小は週5日の開催とともに、週2回から大体3回の体験教室をして、いろいろな工作などの体験を行っています。

昨年度あたりから若いスタッフが増えまして、大学生なんですけれども、運動を中心にたくさん子供たちと遊んでもらっています。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは、三小、お願いできますでしょうか。

【コーディネーター】三小放課後子ども教室の伊藤と申します。

三小では木曜日を除いた週4日、6教室を順調に運営しております。特に月、水、金の校庭には学童を休んで参加する児童も出ていらっしゃるしまして、また、火曜日の英語教室も学童から半数以上占めるなど、様々な児童の居場所になっているというのが最近の状況です。

児童は活動を通して集団の中で相手を思いやったり、ルールを守ったりですとか、それから、公共物の大切さ、大切に使うなどの場面、場面でぶつかり合いながら学ぶような環境になっております。それを見守っているサポータースタッフも、児童への対応を学び合いながら現場を支えています。

あと、火曜日の英語教室は、私たちはジェイコム東京という外の施設をお借りして、学校施設が足りない分、そこを補っていますので、やはり学校施設の問題が非常に重要になっております。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

そしたら、続きまして、四小さん、お願いします。

【コーディネーター】四小の淵上です。よろしくお願いいたします。

四小は昨年度、木曜日開催し、今年の9月から月曜日開催となって、週5日となりました。月曜日の開催はクラブ活動や委員会活動の場で、5時間目の校庭等の活用が難しいので、3時20分、6時間目以降の開催となっています。

そこで、4年生以上の子供たちに企画等を考えてもらうというのをやっているんですけれども、定着するために、まずはこちらから用意した企画に対してボランティアをしてもらいながら、いろいろな考えを聞いてみたり、あと、大学生にも協力してもらって、そういう中でお話、いろいろ子供たちのやりたいことを聞き出したりしているという活動をしております。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは東小さん、お願いできますでしょうか。

【コーディネーター】東小の成田です。

今年度4月からほかの学校と同じように週5日で校庭開放を行っています。東小は9月下旬から校舎の増設工事が始まりまして、遊具は全て撤去され、また、白い仮囲いを工事現場のほうに建てられました。そのこともありまして、校庭が小さくなって、サッカーもできないということで、子供たちの参加が減少傾向にありました。なので、10月から子供たちの意見を聞いて、体育館と校庭と両方の開催を行っています。工事自体は3月で終了予定となっていますので、4月からは校庭開放を学校の対応を見ながら同じように行っていきたいと思えます。

東小は学校内に学童、また、隣接して児童館、そして、近所に公園や東センターといった公共施設がありますので、子供たちにとってはとても恵まれた環境にあります。今後もしばらく児童数が増加すると思われる東小学校の児童の安全・安心な居場所として、児童館や学童の先生たちと協力しながら見守っていきたいと思っています。

東小からは以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

続きまして、前原小学校、お願いします。

【コーディネーター】前原小学校の森田です。よろしくお願ひいたします。

前原小学校では昨年度の1月から週5日制で全日開催を始めています。今年度4月以降の参加者数は、多くて1日200人、少ないときで30人と差はあるのですが、大体平均すると1日、百二、三十人が参加しています。高学年の参加が多いのが前原小の特徴でもあります。さらに、中高生が約20人、1月末時点で遊びに来ていますが、半数の10人ぐらいが、実は4月に入学した中学校とか高校の制服をスタッフに見せに来てくれるということがありました。毎年4月になるとそういう中高生が訪れてくれるのはとてもうれしいことです。

前原小は校庭遊びがメインですが、水曜日に自由工作を行っています。そちらのほうも本当に自由で、今、一番人気なのが段ボール工作です。毎日やってほしいというお子さんの声もあるぐらい人気なのですが、一応、準備もなかなか大変なので、今は週に1回、水曜日のみとさせていただきます。

現時点での実施率は85%です。校庭遊びが基本なので雨天中止となっています。室内遊びに振替をしたいところですが、課題として、慢性的な教室不足があります。地域未来塾が前原小で始まって3年目になりますが、地域未来塾は水、金に教室を使っておりますので、その関係もありまして、こちらでは水、金の雨天の室内遊びの振替はなしとしています。結果、水、金が雨天中止の場合は活動なしとなってしまっているのが目下の課題です。

スタッフについて、コロナになった2020年頃から学校が休校になったり、いろいろなボランティア活動、地域の活動ができなくなった中で、若い子供たちの居場所というのがちょっとなくなっていましたので、大学生とか、あと、貫井南児童館を中心

に活動している大人のボランティア、学生のボランティアに声をかけて、スタッフとして入っていただいています。中にはかつて前原小の子で、参加していた子もいたりして、その子が今度大人になって、子供たちを見守るというとてもいい流れができています。

また、PTAのクラス会とかがない状況の中で、転入された保護者の方が、他の保護者とつながるきっかけがないということもあり、放課後子ども教室の現役保護者のスタッフがその保護者にお声がけして、スタッフになっていただいています。学校の中でのつながりとか、あと、お母さんがいるから子供も遊びに来ようということで、放課後子ども教室に遊びに来て、そこでまたお友達ができて、学校に早くなじめるようになるという配慮をしてくれているスタッフもいます。スタッフの自発的なそういう活動が子供たちの学校生活を豊かにしているのではないかと思います。

また、任意なのですが、スタッフには小金井市の防犯パトロールに登録していただいています。防犯ジャケットが支給されるので、それをビブスとして着用しています。また家からの往復にもそれを着ていただくことで地域の見守りにも一役かっています。

あと、地域との連携ということで、芝生会議では、学校や芝生業者、校庭の利用団体の交流の場になっています。あと、貫井南児童館地域懇談会にも四小さんや、地域のNPO団体の方と7月、2月に参加させていただきました。子供たちの活動についての情報交換、交流をし、具体的な連携というのはまだないのですが、今後に期待していきたいと思っています。

このように前原小学校の放課後子ども教室では子供たちを軸にした地域づくりを進めています。

以上です。

**【副委員長】**ありがとうございます。

それでは、本町小、お願いできますでしょうか。

**【コーディネーター】**本町小の西田さんがお休みで、代わりにコバヤシです。

本町小の放課後子ども教室の令和5年度の活動は、月曜日から金曜日の週5日を基本にして、5時間目終了時から室内教室で低学年算数教室を開催して、その後、6時間目終了時間から校庭遊びを行っています。雨天や降雨のときは体育館を使用させていただきます。低学年が4時間授業のときは、そのまま参加させてほしいという保護者からの要請があったので、去年の2学期から、4時間目が終了したらそのまま参加できるように、早開催を13時10分から行っています。

室内教室では宿題、空き箱などを使った自由工作、牛乳パック、毛糸、折り紙などを使った工作、季節の工作などが自由にできるようにしています。校庭遊びではゴムボール、プラスチックバットを使った野球やサッカー、バドミントン、一輪車、鬼ごっこなどをして自由に遊んでいます。

1学期は平均の参加人数が1回44.6人で、2学期は47.7人となっています。本町小は学童が離れているので、学童児童の参加がほとんどなく、他校よりは参加人数が少なくなっているかと思われます。3学期は1月10日から3月21日までの開催予定となっています。

令和6年度も同様の活動を予定していて、現在、本町小の場合は1年から3年で7割を占めています。今後は高学年の参加が増えるように、子供たちの意見を聞きながら、興味がある教室を開催していきたいと思っています。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは、緑小、お願いできますでしょうか。

【コーディネーター】緑小コーディネーターの吉田と申します。よろしくお願いいたします。

緑小では「みどりのほうかご」という呼び名で、月曜日から金曜日の週5日、全曜日帰りの会が終わって、そのまま参加できる全日開催で活動しています。毎日、学童さんも含め、大体150名ぐらいの参加があります。同級生はもちろんですが、学童のお友達とか、ほかの学年との交流ができるというのも放課後の魅力だと思っています。

校庭と室内教室を同時開催していますので、雨天で校庭が使えないときなども、図書室や体育館での受け皿があるため、原則、中止はありません。令和5年度も一度の中止もなく、先週金曜日までで174回開催しています。

水曜日は体育館で放課後スポーツというのを開催しています。市の卓球連盟の方には卓球とか、東京ヴェルディチームにはセパタクロ、地域のママさんチームにはバレーボール、手話を取り入れたUDダンス、最近では小金井市で唯一のプロチームに来ていただき、バスケットボールを御指導いただきました。この日の子供たちは図書室で宿題をして、体育館でスポーツを楽しみ、校庭で思いっきり遊ぶ、そんな特別な放課後を過ごしています。

それと、昨年末、大地震を想定した避難訓練を児童館と学童と同時開催で実施しました。途中で帰った参加児童の確実な把握など、いろいろな課題が浮き彫りになりましたけれども、とても意味のある訓練になったと思います。

緑小の報告は以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは、南小、お願いできますでしょうか。

【コーディネーター】南小学校の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

南小学校は今年度より月曜日から金曜日の週5日開催をしています。月曜日と水曜日は学習アドバイザーによる放課後教室、または室内遊びというのを行ってまして、火曜日、木曜日、金曜日は校庭遊びを開催しています。校庭遊びの際は雨天でも開催

中止にならないように体育館で遊んだりとか、あと、ちょっと人数が多い場合は室内遊びと体育館遊びを両方で開催したりする形で、できる限り開催中止にならないように子供たちの居場所づくりをしております。

あと、放課後子どもサポーターさんは現在、現役の保護者の方がメインとなって見守りをしてくださっているのです、子供たちもすごく安心して教室のほうに参加できていると思います。

次年度も週5日開催という形で活動していきたいと思っています。

報告は以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは、実行委員会、お願いできますでしょうか。

【実行委員長】それでは、実行委員会報告をさせていただきます。実行委員長の森田です。

まずは進捗状況からお話をさせていただきます。今年度から週5日開催の学校が随分増えまして、開催回数の増加とともに、今まで見えなかった課題も増えている状況です。子供のけがやトラブル、保護者や学童、学校対応などに対する、各校のスタッフのご尽力はもちろん素晴らしいものがあります。そして、実行委員会でも協力しながら課題解決の方向が子供にとっても最善の利益であるように意見交換を行っています。

議会では放課後子ども教室のことを手作り感のあると揶揄した議員がいますが、この週5日制導入に際して、400人近い市民ボランティアが子供たちとどれほど真摯に向き合っていることか、運営委員の皆様には御理解いただきたいと思います。

次に協議会についてです。今年度は各校年2回の開催は難しく、開催の機会を持っていないまま対学校と対学童保育所とコーディネーターが個別に対応した1年でした。来年度の協議会の開催をお願いするとともに、年2回では、タイミングによっては予算や事業計画を立てた後になつたりしますので、各校の学童保育所の学校の施設利用については、決まりました段階にてお示しいただきたいと思います。

続いて、こちらに一小さんの校舎の改築等基本設計図を出していただきますが、校舎の長寿命化計画が、既に始まっている学校もあります、計画変更もあると伺っております。本事業が校庭や学校施設を利用して行っていることもありますので、各校の予定表をお示しいただけますでしょうか。こちらのほうでも早くお知らせいただけますと、次年度の計画がスタッフとも相談しやすいので、なるべく早めにお知らせいただけるとありがたいです。

最後になりますが、全国自治体シンポジウムのポスターセッションの報告をさせていただきます。2月10日、11日、両日展示をさせていただきました。こちらのポスターになりますが、17団体が展示をし、放課後子ども教室も出させていただきました。両日、午前、午後と3人ずつシフトを組んで、説明員として参加しました。会

場に見えた方からの質問などもあり、活動の周知にもつながりました。また、様々な立場で子供に関わっている方のお話を伺う機会もありまして、スタッフ一同大きな学びがありました。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

それでは、ただいまの報告を受けまして、何か御質問等ございますでしょうか。

## 2 その他

### (1) 市立小学校の増改築等について

【副委員長】ないようですので、その他の1、市立小学校の増改築等について御説明があります。お願いします。

【内部委員】庶務課長の鈴木と申します。いつもお世話になっております。本日はお時間をいただきましてありがとうございます。

お手元にお配りしました小金井市立小金井第一小学校校舎改築等基本設計を御覧いただきながら説明させていただければと思います。

まず、これまでの経過ということで簡単に説明させていただきますけれども、市内にあります14の市立の小中学校につきまして、施設の約9割が築30年以上経過しておりますことから、学校施設の老朽化の対策ということが喫緊の課題となっております。このことから、市におきましては令和3年3月に小金井市学校施設長寿命化計画を策定しまして、市立小中学校の施設の更新計画を作成しております。

第一小学校につきましては、施設の老朽化の状況などから、市立の小中学校では2番目に校舎の建て替え等を進めていくことといたしました。しかしながら、この長寿命化計画を策定した後、令和3年4月に法律の改正がございまして、公立小学校の1学級当たりの児童数の基準であります学級編成標準というものが、段階的に40人から35人へ引き下げられることとなりました。第一小学校ではこの引下げの影響等によりまして、長寿命化計画の策定時の想定以上に学級数が増加しておりまして、現在の校舎では普通教室が不足してしまうおそれが出てきましたことから、令和4年9月に第一小学校における校舎建替等基本計画というものを策定しまして、施設の老朽化対策と学級数の増加への対応のため、校舎の建て替えを早期に実現していくことといたしました。

本基本計画につきまして、同年の10月に第一小学校の保護者、それから、近隣住民を対象とした説明会を開催した後に、令和5年3月から第一小学校の校舎改築等設計業務に着手をしまして、今年1月になりますが、第一小学校校舎改築等基本設計というものを取りまとめたところです。それが今回お示しした資料ということになります。

基本設計の概要についてですけれども、めくっていただきますと、基本計画の施設整備方針及び施設整備計画というものがございます。概要としましては4つの項目です。新校舎の建設、既存校舎の解体、体育館の改修、校舎・外構整備といった内容について記載がされているところです。すいません、これを一つ一つ説明していくとえらい時間がかかってしまいますので、前回もたしかこの場にお邪魔しまして基本計画について説明させていただいたと思うのですが、そこから大きく変更になりましたところについて御説明いたします。

整備スケジュールの変更ということになります。この資料の一番後ろのページに事業スケジュールというのがあるかと思うのですが、そちらを御覧ください。新校舎建設の工事期間につきましては、基本計画におきましては19か月と見込んでいたところなんですけれども、公共工事における週休2日制の促進、人手不足といった社会情勢のほか、一小は比較的狭い敷地ですので、ここで児童等の安全を最優先とした施工の難易度等を考慮しまして、19か月見込んでいたものを22か月に延長してまいります。

また、事業全体の整備スケジュールですが、当該工事期間の延長に合わせて、学校の引っ越し時期等勘案しまして、表のとおり、令和8年度末に新校舎を完成させるという整備スケジュールへ変更してまいります。

この工事についてなんですけれども、新校舎建設の工事着手となります令和7年6月からグラウンドの整備が完了するのが令和10年1月ということになりますので、この間、かなり長い期間になります。2年と8か月ということになるのですが、工事によりまして校庭の使用が制限されることとなります。この期間につきましては、体育の授業ですとか、休み時間の運動は、基本的には体育館を活用していただくこととなりますけれども、市では児童が屋外活動を行える場所を確保するための検討も現在行っておりまして、まず、具体的には今ある既存の校舎の屋上を利用することにつきまして学校さんと相談しているほか、運動会等行事につきましては、近隣になりますが、第二中学校のグラウンドを使用して実施できるよう、第二中学校とお話をさせていただいております。

そのほかの市以外の施設の利用について、正直ハードルはかなり高いところなんですけれども、借りることができる場所はないか施設の管理されている方と相談をさせていただいているところで、教育委員会といたしましては、引き続き学校と相談しながら対応策を検討してまいりたいと考えております。

簡単ですけれども、説明につきましては以上となります。

【副委員長】ありがとうございました。

何か質問等ございますでしょうか。

【委員長】一小さんはどうですか。コーディネーターの富沢さん、何か質問があれば。

【コーディネーター】いいですか。屋上なんですけれども、屋上はどのような形で使えるようになるのか気になっています。

【内部委員】まだ検討しているところではあるのですが、屋上ですので、例えば球技といったことは難しいかと思います。ある程度できることは制限されてくると思うんですけども、また学校の屋上ということですので、必ず子供たちだけではなくて、大人が見ている必要があるということで、今いろいろと学校さんと調整させていただいているところではあるのですが、例えば縄跳びをしたりですとか、あるいは、ある程度広さもありますので、走り回ったりということが出来る形にはしたいなと考えております。まだ具体的にはこれから調整することになります。

【コーディネーター】ありがとうございます。もう一つ聞いてもいいですか。屋上だけではなくて、プールを使っていない時期に水を抜いてその中で遊べるとか、そういったことは考えていないですか。

【内部委員】いろいろな可能性ということで、なかなか水を抜いてその中でというのはどうかと思うんですけども、プールサイドは比較的広かったりしますので、何かできないかということで検討しているところです。

【コーディネーター】よその学校でプールの水を抜いた中で遊ぶというのを見たことがあるので、そういった可能性があるのかなと思っています。

【内部委員】そういった御意見があったことをまた学校と話をしてみたいと思います。

【コーディネーター】質問してもいいですか。すいません、前原小です。

校庭が使えない時期がかなり長いかと思いますが、多分、同じように校舎内も使えないのかなと想像したりするのですが、多分これはほかの学校もこの後、工事が始まって、それと同じような状況が、似たような状況が起きてくるのではないかと思います。例えばこういうときに向けて、ほかの施設を利用してもいいというふうに、今、放課後子ども教室というのは、小金井市の場合は学校施設の中でということで、校庭と校舎をお借りしてということになっているかと思うんです。ただ、ほかの自治体では、例えば公民館とか、そういうほかの場所も利用しながら実施しているところもあったりするので、例えば小金井市の場合はほかの公民館、公共施設を利用しながらの実施というのを緊急対応としてというんですかね、こちらの事業を継続していくためにも、そういう考えを検討していただくことは可能でしょうか。

【内部委員】一応、いろいろなケースということで想定しているところではあるんですけども、先ほどもあったかと思うんですけど、一小の場合、近隣に公共施設は非常に少ない状況もあったりしまして、建設決定ではないのですが、あそこも庁舎が建つということで使えない状況ですので、公共施設に限らず、活用できる施設が何かないかということで、いろいろ今まさに検討している最中で、なかなか場所を借りるとしても、今の施設を管理している方の了解を得られるというのが難しいところもあるんで

すけれども、いろいろなパターンを今検討してやっているところです。

また、ほかの今後の建て替えとかが多分、学校の長寿命化計画に従って建て替えとか増築ということになった場合には、またケース・バイ・ケースで近隣の施設等を借りたりということは考えていきたいと考えています。

【コーディネーター】一小さんの近くだと集会場もあるかと思うんです。

【内部委員】公社。

【コーディネーター】はい。公社の集会所とか、そういうところも選択肢を広げて、市のほうでアプローチしていただけるとありがたいかなと思って。

【内部委員】ありがとうございます。いろいろ今、ちょっと名前が出せないんですけれども、近隣の施設等も当たっているところではありますので。

【コーディネーター】そうですか。ありがとうございます。

【内部委員】なかなかそれが、すぐ叶うかどうかというのは難しいところではあるんですけれども、今調整しているところですので、すいません、そのように御理解いただければと。

【コーディネーター】ありがとうございます。よろしく願いいたします。

【副委員長】そのほか、ございますか。どうぞ。

【コーディネーター】四小の湧上です。

一小さんのことで今あったんですけれども、他校で二小、四小も予定されているのですか、長寿命化計画について。

【内部委員】一応、先ほどもあったんですけれども、令和3年に策定しました長寿命化計画はホームページにも載っているのですが、それにそれぞれの学校の今後の予定等は載っております。

ただ、ここで、先ほどもありましたとおり、40人が35人学級になったということもありまして、2年かけて長寿命化計画の見直しをする予定でありますので、またそれによって順番が変わったりとか、規模が変わったりということがあるかと思うんですけれども、今の段階では長寿命化計画というものがあって、それに順番が出ていきますので、また後ほど御確認いただければと。

【コーディネーター】今見ているんですけれども、では、このとおりで。

【内部委員】はい。今の段階ではそのとおりです。

【コーディネーター】ありがとうございます。

【副委員長】ありがとうございました。ほか、ございませんか。どうぞ。

【内部委員】児童青少年課の野村と申します。特に質問というわけではなくて、情報共有ということで少しだけお時間いただいてもよろしいでしょうか。学童保育の現状について、少しだけ御説明させてください。

【委員長】どうぞ、着座してください。

【学童保育係長】本市、学童保育につきましては、これまでどおり全入制を取っております。共働き世帯の増加や女性の就業率が向上したという形の状況等ございまして、学童保育の希望者数は今後も増加していくと捉えております。

令和5年度の情報なのですが、令和5年度当初、学童保育所の利用児童数は1,500人以上となっております。定員を大幅に上回って、今、児童が利用している状況です。参考に、令和6年度についても、1,600人以上が申込をされていまして、年々、100人程度の形で増加している状況がございまして。

令和6年度の学童保育入所申請が10月27日から11月15日までの期間、郵送や窓口で、学童保育所でも受け付けを行っております。申し上げたとおり、年々増加傾向にあり、子供たちの放課後の居場所の一つとして、今、学童保育所の育成室の確保というのが急務の課題となっております。学童保育所の大規模化と言われるのですが、こちらにつきましては、公共施設マネジメントでは将来の人口推計等に合わせ、公共施設等の総量抑制の観点から、学童保育所単独での施設建設は難しいという状況になってきております。学校の先生方の御理解と御協力によって、今現在、学校施設の一部をお借りして学童保育を入れさせていただいてる学校も多々あります。なかなか市内小学校の各小学校、先ほど庶務課長のほうからありました、児童数の増加に加えて学校標準が変わったということで、35人学級の実施というのも始まった関係もございまして、特別教室を普通教室に転用するなど、教室の確保が急務となっているとも伺っております。

そうした中で、学童保育指導員から、各小学校の放課後子ども教室のコーディネーターの皆様から、校庭利用をお声がけいただいたり、あるいは体育館を行事で使用する際に日程調整や、あるいは雨の日の利用について、声をかけていただいたりということで、様々連携を取らせていただいております。この場を借りてお礼を申し上げるということとともに、今後とも放課後の子供の居場所に関する施策として連携を図ってまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、児童数も増加しております。教室確保が急務になっているということで、各校長先生をはじめ、先生方と御理解、御協力もいただきながら現在学童を運営しています。令和6年度についても、今後は児童数増加が見込まれておりまして、今後ぜひ皆様に放課後子ども教室を利用していない特別教室や教育委員会、学校の協力を頂き、民設民営や民間施設なども検討して学童保育所の育成室の確保に努めてまいりたいと思っております。

以上です。

【副委員長】ありがとうございます。

【委員長】まさにそういうことを協議する場として、今年度できなかった協議会が大切な場になりますので、ぜひ来年度、設置されましたら活発な意見をいただきたいと思います。

ますので、ぜひよろしく願いいたします。

【学童保育係長】ぜひお願いします。

【委員長】御丁寧にありがとうございます。

【副委員長】それでは、ないようでしたら、最後に皆様から何かございますでしょうか。

それでは、ないようですので、最後に事務局からありますでしょうか。

【事務局】では、事務局、私のほうで発言してもよろしいですか。生涯学習課長です。私からは2点でございます。

1点目、先ほど委員長からもございましたとおり、今年度は運営委員会が本日を入れて2回のみ開催となってしまいまして、大変申し訳ございませんでした。次年度以降につきましては、運営委員会については例年5回程度、それから、協議会につきましても、各校での開催という形をお願いしたいと思っておりますので、今後、正副と調整させていただいて、日程調整等を進めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。1点目は来年度関係でございます。

2点目は、本日お配りいたしました会議録でございますけれども、一応、今の段階では案ということになってございます。恐縮ですけれども、去年の4月のお話ですので、なかなか皆さん、記憶も曖昧かなと思っております。大変申し訳ございません。何かありましたら事務局にメールをいただければ、そこで修正させていただきます。

「てにをは」につきましては、細かい部分については事務局で対応させていただきますので、これは致命的に発言が違うんじゃないのというところがありましたら、御指摘をいただければと思っております。一応期限を3月1日までとして定めたいんですけれども、よろしいですか。大丈夫ですかね。では、3月1日までに何もなければ、この形でホームページにアップロードさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

私のほうは以上2点でございます。

【副委員長】ありがとうございます。

事務局、大丈夫ですか。

【事務局】はい。

【副委員長】ありがとうございます。

#### 4 閉 会

【副委員長】それでは、これもちまして、第2回の運営委員会を終了いたします。ありがとうございます。

— 了 —